

第2学年 英語科学習指導案

日時 平成30年10月11日(木) 5校時

学級 2年4組 男子16名 女子12名 計28名

場所 2年4組教室

授業者 教諭 松橋 麻里乃

1. 単元名 PROGRAM 6 A Work Experience Program (Sunshine English Course 2)

2. 単元について

(1) 教材観

この単元は、職場体験が話題となっており、登場人物の由紀や武史がALTのウッド先生に、自分の体験したことや学んだことについて話す場面が取り上げられている。単元の最後には、桃子が職場体験のことと絡めて、自分の将来についてのスピーチをする内容になっている。

文法事項としては、to不定詞の名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法の3つを扱う。生徒は小学校の外国語活動で動詞wantを使って、Where do you want to go? I want to go to Italy. などの名詞的用法には慣れ親しんできている。

この単元を通してto不定詞を使い、自分のしたいことや、行動の目的など自己表現につなげていきたい。

(2) 生徒観

授業ではペア活動を多く取り入れており、2年4組の生徒たちは英語が得意な生徒がリードして、クラス全体として意欲的に授業に臨むことができる。その一方で、既習事項の定着が十分でない生徒もおり、学力差がかなりみられる。そこで、どの生徒も一人ひとりが授業で達成感を味わえ、自己表現につながるようにBasic Dialogの暗記や、オリジナルDialogの作成、ミニゲームなど会話をする活動を取り入れてきた。

本単元でも、引き続きペアやグループ活動などの多様な形態を取り入れたい。

(3) 指導観

生徒一人一人の学習をしっかりと見取り、頑張りを認める指導を心掛けたい。学力差をカバーするため、ペアワークやグループワークを取り入れ、協力して目標を達成し、自信につなげたい。また、活動をやって終わりにならないように、授業の最後にはペアで作成した会話文を全体に紹介する場面を設定したり、ノートに例文とまとめたりして、1時間の授業の中で何を学んだのかを再確認できるようにしたい。

<ユニバーサルデザインの視点から>

本校の研究テーマに関わり、普段の授業では次の視点を意識して授業を行っている。

① 焦点化

Today's Goalとして、新出文型の導入を通して今日の学習の目標を生徒と確認する。

② 展開の構造化

Today's Goalで確認した学習目標を達成するための手順を黒板に掲示し、今どこをやっているのか学習の進み具合を提示している。

③ 視覚化

新出文型の導入のときに、どのような場面で使われる表現なのかを理解させるために写真や絵を利用している。

④ スモールステップ化

音読の時は、単語、フレーズ、一文と段階を踏んで練習させる。オリジナルDialog作成する時には、元となる、Basic Dialogを確認し、そこから作成させるようにしている。

⑤ 共有化

音読練習をする時に、ペアで練習させ、読めない単語を教え合いながら進めている。また、授業の終末にペアで作成した会話文をテレビ画面に映し、クラス全体でお互いの良さを認め合う場面

を設定している。

⑥ 適用化

自分の体験に基づいた英作文を作成し、紹介、発表する活動を行っている。

3. 単元目標

- (1) to 不定詞を使って、主体的にコミュニケーション活動に取り組もうとしている。(関・意)
- (2) to 不定詞を正しく使い、設定場面の中で会話したり、書いたりする。(表)
- (3) ユキ、タケシ、モモコが職場体験で経験したことや、将来の夢を読み取る。(理)
- (4) to 不定詞の3つの用法を正しく身につける。(知・理)

4. 単元の指導計画・評価基準(全7時間)

時間	・ねらい ○学習活動	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語文化の知識・理解
1	○to 不定詞の名詞的用法を理解する。 ・to 不定詞の名詞的用法を用いた文の意味、構造を理解する。		to 不定詞を使って、自分がしたいことを英語で伝えることができる。		to 不定詞の意味や使い方を理解している。
2	○本文を通して、to 不定詞名詞的用法を理解する。 ・P53 を通して、to 不定詞の名詞的用法を理解する。 ・音読練習をする。(リピート、ペア、グループ)	ペアでの本文音読に積極的に取り組もうとしている。		ユキが職場体験で経験したことを、ウッド先生とのやりとりから読み取ることができる。	
3 本時	○to 不定詞の副詞的用法を理解する。 ・to 不定詞の副詞的用法を用いた文の意味・構造を理解する。 ・ペアで行動の目的を言えるように練習する。	ペア活動 (Basic Dialog を用いた Speaking Activity) や発表に積極的に取り組もうとしている。	to 不定詞を使って、場面に合った会話をしたり、その会話文を書いたりすることができる。		
4	○本文を通して、to 不定詞の副詞的用法を理解する。 ・P55 を通して、to 不定詞の副詞的用法を理解する。 ・音読練習をする。(リピート、ペア、グループ)	ペアでの本文音読に積極的に取り組もうとしている。		タケシが職場体験で経験したことや学んだことをウッド先生とのやりとりから読み取ることができる。	
5	○to 不定詞の形容詞的用法を理解する。 ・to 不定詞の形容詞的用法を用いた文の意味・構造を理解する。		to 不定詞を使って、ペアで物当てクイズを作成することができる。		to 不定詞の意味や使い方を理解している。
6	○本文を通して、to 不定詞の形容詞的用法を理解する。 ・P57 を通して、to 不定詞の形容詞的用法を理解する。 ・音読練習をする。(リピート、ペア、グループ)	ペアでの本文音読に積極的に取り組もうとしている。		モモコのスピーチから、モモコの考えを読み取ることができる。	

7	○本文参考に、自分の職場体験について英作文をする。 ・P53, 55, 57 を参考に、自分の体験とその感想を 3 文以上で書く。		学んだ表現を正しく使って、自分の体験や思いを書くことができる。		
---	--	--	---------------------------------	--	--

5. 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・ペア活動(Basic Dialog を用いた Speaking Activity や本文音読)や発表に積極的に取り組むことができる。(関・意)
- ・to 不定詞を使って、場面に合った会話文を話したり、書いたりすることができる。(表)

(2) 指導の構想(本時における UD の主なポイント)

本校の研究課題との関わりで、本時では特に次の3つのユニバーサルデザインの視点を意識して授業を行う。

① 焦点化

Today's Goal として、新出文型の導入を通して今日の学習の目標を生徒と確認する。

② 展開の構造化

Today's Goal で確認した学習目標を達成するための手順や指導内容を黒板に貼りだし、この時間の見通しを持たせる。

③ スモールステップ化

元となる Basic Dialog を確認し、ヒントを与えそこからオリジナル Basic Dialog の作成をさせる。

(3) 本時の展開 (3/7時間)

過程	学習内容	学習活動	・教師の活動 ※指導上の留意点 ★評価	UD の視点
導入 7分	1. Greeting	・英語であいさつする。	・英語であいさつする。	焦点化 (この時間の指導目標を黒板に掲示する。)
	2. Introduction of Target Sentence	・ Basic Dialog を聞き、目的を表す不定詞の使い方を確認する。	・ 絵や写真を用いて、話題は何か概要が理解しやすいようにする。	
	3. Today's Goal	・ 聞き取った Basic Dialog を元に、今日の目標を確認する。		
<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>★Today's Goal★ 「～するために」という表現を使い、ペアでオリジナルスキットを作ろう!!</p> </div>				
展開 38分	4. Today's Menu	・黒板にある本時の手順を見て、学習内容を確認する。	・今日の学習内容を提示する。 ・今日の授業の手順を説明する。	展開の構造化 (指導内容を黒板に貼りだし、この時間の見通しを持たせる。)
	5. Check the New Grammar	・新出表現の意味、用法を確認する。	・基本文を黒板に書いて、ポイントを簡潔に整理する。	
	6. Speak	・イラストを見て、新出表現のパターンプラクティスを行う。	・イラストの提示をする。	スモールステップ化 (元となる、Basic Dialogを確認し、ヒントを与えそこからオリジナル Basic Dialogの作成をさせる。)
	7. Make Original Dialog	・教科書の Basic Dialog の音読練習をする。 ・ Basic Dialog を元に、ペアで会話文を考える。	・ Word Box で、表現を示し、ヒントを与える。 ★スキットを使った口頭での練習に取り組むことができたか。 (関・意 観察による評価)	
8. Speaking Activity	・作成した会話文を暗記し、教師にチェックしてもらおう。チェックが終わったら、その会話文をノートに書いてみる。	★副詞的用法の不定詞が含まれた英文を話したり書いたりすることができたか。 (表 教師によるチェックとノート回収による評価)		
終末 5分	9. Consolidation	・作成した会話文を見て、全体で今日の表現を確認する。	・生徒が作成したものをモニターに映し、全体で今日の表現を確認させる。	
	10. Greeting	・次回の予告を聞く。 ・英語であいさつをする。		